

6回生 選択必修科目「社会問題探究」授業のシラバス

教科名	地理歴史・公民	科目名	社会問題探究	単位数	3単位
科目の目標	○これまでの地理・歴史・公民科目での学びを基盤に、社会的事象の意味や意義、概念等を科目相互の関連を重視しながら総合的に捉えるとともに、自ら課題を設定したり「問い」を立てたりすることで、主体的に学び、思考力・判断力・表現力等を養う。				
教科書	5回生までに履修した科目で使用したもの	副教材	5回生までに履修した科目で使用したもの		

1 学習の目標

- 科目相互の関連を捉えることで、幅広い知識と教養を身に付ける。
- 日々の授業を通して「問い」への追究を発展させていくとともに、知識を活用したり、関連付けたりすることで、現代の諸課題につながる歴史的背景への考察を深め、自分なりの考えをまとめたり、説明したり議論したりする思考力・判断力・表現力を養う。
- 自らの興味・関心に応じて考察・追究活動を行い、主体的に粘り強く学び続ける態度を養う。

2 学習の方法

- 授業について
 - 講義形式ばかりもよくないですし、かといって調べ学習や話し合いばかりに終始しても成就感が味わえるものではありません。「説明を聞く（書く）場面」「自分たちで学ぶ場面」どちらにも主体的な姿勢で、「なぜ？」と常に疑問や批判的精神をもちながら意欲的に学ぶことが大切です。ただ聞いているだけでなく、積極的にメモを取ったり、自分で「まとめノート」を作成したりすると、より理解や思考力が深まります。思考力・表現力は、ある程度の知識を基盤としないかぎり高まっていくものではありません。「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」は両輪として動かすことが大切であると捉えてください。
 - 歴史科目を中心に学ぶクラスと、公民科目を中心に学ぶクラスとに分けて展開します。そのなかで科目相互の連携を図りながら多面的・多角的に考察を深め、幅広い知識や見方・考え方を身に付けることを目標とします。歴史科目を中心に学ぶ場合は「現代社会の諸課題とどう結び付いているのか」、公民科目を中心に学ぶ場合は「日本や世界の政治・経済体制、その思想的背景がどのような歴史展開から見出されたものなのか」といった「大きな問い」をもちながら学んでいくとよいでしょう。
- 復習について
 - まずは知識の習得が大切です。教科書や資料集を熟読すること（積極的にメモを書いたり、マークしたりする）、副教材を中心としてこつこつと何度も繰り返し復習（アウトプット）することが大切です。
 - 好きか嫌いか、受験科目であるか否かによって著しく手を抜いたり、他教科の学習をしたりすることは認めません。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関心・意欲・態度	現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開に対する関心を高め、社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けている。
② 思考・判断・表現	現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開から課題を見出し、社会の変容や様々な立場・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察し、判断の過程や結果を様々な方法で適切に表現している。
③ 資料活用の技能	現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開から諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。
④ 知識・理解	現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開についての基本的事項について理解し、その知識を身に付けている。

(2) 評価の方法（以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する）※4つの観点を日頃の授業や考查等から総合的に評価します。

観点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ノート	ワーク シート	討議	態度	
① 関心・意欲・態度			◎	◎		○		◎		◎	○	○	
② 思考・判断・表現			◎	◎		○		◎		◎	○	○	
③ 資料活用の技能			◎	◎				◎		◎			
④ 知識・理解			◎	◎				○		○			

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探究心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係性を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体を持ち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着を持ち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画

月	単元・学習内容		評価の観点	考查等	資質・能力
4	歴史を中心に学ぶ	公民を中心に学ぶ	それぞれのテーマ（単元・学習内容）について ①現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開に対する関心を高め、社会的事象を総合的に考察しようとする態度を身に付けている。	1学期中間考査（予定）	ABCDJLM
5	○古代の日本と東アジア世界 ・日本文化のあけぼの ・律令国家の形成 ・貴族政治と国風文化 ・中国の古典文明 ・東アジア文化圏の形成 【テーマ探究・演習1】	○古代の日本と東アジア世界 ・日本の風土と人々の生活 ・古代の人々の考え方 ・古代仏教の思想 ・諸子百家の思想 ・儒教の伝来 【テーマ探究・演習1】			ABCDJLM
6	○中世・近世の日本と世界情勢 ・中世社会の成立 ・武家社会の成長 ・内陸アジアと東アジア世界の展開 ・アジア諸地域の繁栄 【テーマ探究・演習2】	○中世・近世の日本と世界情勢 ・鎌倉仏教の思想 ・儒教の日本化 ・日本文化と国学 ・近世庶民の思想 【テーマ探究・演習2】		1学期期末考査（予定）	ABCDJLM
7	○近代日本国家の成立と帝国主義 ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・帝国主義列強の展開 ・世界分割と列強対立 【テーマ探究・演習3】	○近代日本国家の成立と帝国主義 ・西洋文明との接触 ・啓蒙思想と民権論 ・キリスト教の受容 ・国家主義の高まりと社会主義 【テーマ探究・演習3】			ABCDJLM
8	○2つの世界大戦と世界 ・第一次世界大戦と日本 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズムの台頭 ・第二次世界大戦 【テーマ探究・演習4】	○2つの世界大戦と世界 ・近代的自我の成立 ・近代日本哲学の成立 ・近代日本の思想傾向への反省 【テーマ探究・演習4】			ABCDJLM
9	○占領下の日本と冷戦時代の世界情勢 ・占領と改革 ・冷戦の開始と講和 ・核の時代 【テーマ探究・演習5】	○占領下の日本と冷戦時代の世界情勢 ・日本国憲法制定までの道のり ・国際政治の動向 ・核兵器と軍備縮小 【テーマ探究・演習5】			ABCDJLM
10	○高度成長期の日本と世界情勢 ・55年体制 ・経済復興から高度成長へ ・戦後の国際経済 【テーマ探究・演習6】	○高度成長期の日本と世界情勢 ・戦後日本経済のあゆみと現状 ・世界経済と日本 ・国際経済における日本の役割 【テーマ探究・演習6】			ABCDJLM
11	○激動する世界と日本 ・経済大国への道 ・冷戦の終結と日本社会の変容 ・現代文明の様相 【テーマ探究・演習7】	○激動する世界と日本 ・現代日本の政治や経済の諸課題 ・国際社会の政治や経済の諸課題 【テーマ探究・演習7】	③現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開から諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができる。		ABCDJLM
12			④現代社会の政治・経済・社会・国際関係などにかかわる基本的な問題や、人間の生き方・社会の在り方にかかわる事項、または歴史の展開についての基本的事項について理解し、その知識を身に付けている。		ABCDJLM

※授業内容を前倒しで行う場合があります。

※【関心・意欲・態度】→①、【思考・判断・表現】→②、【資料活用の技能】→③、【知識・理解】→④として表現しています。